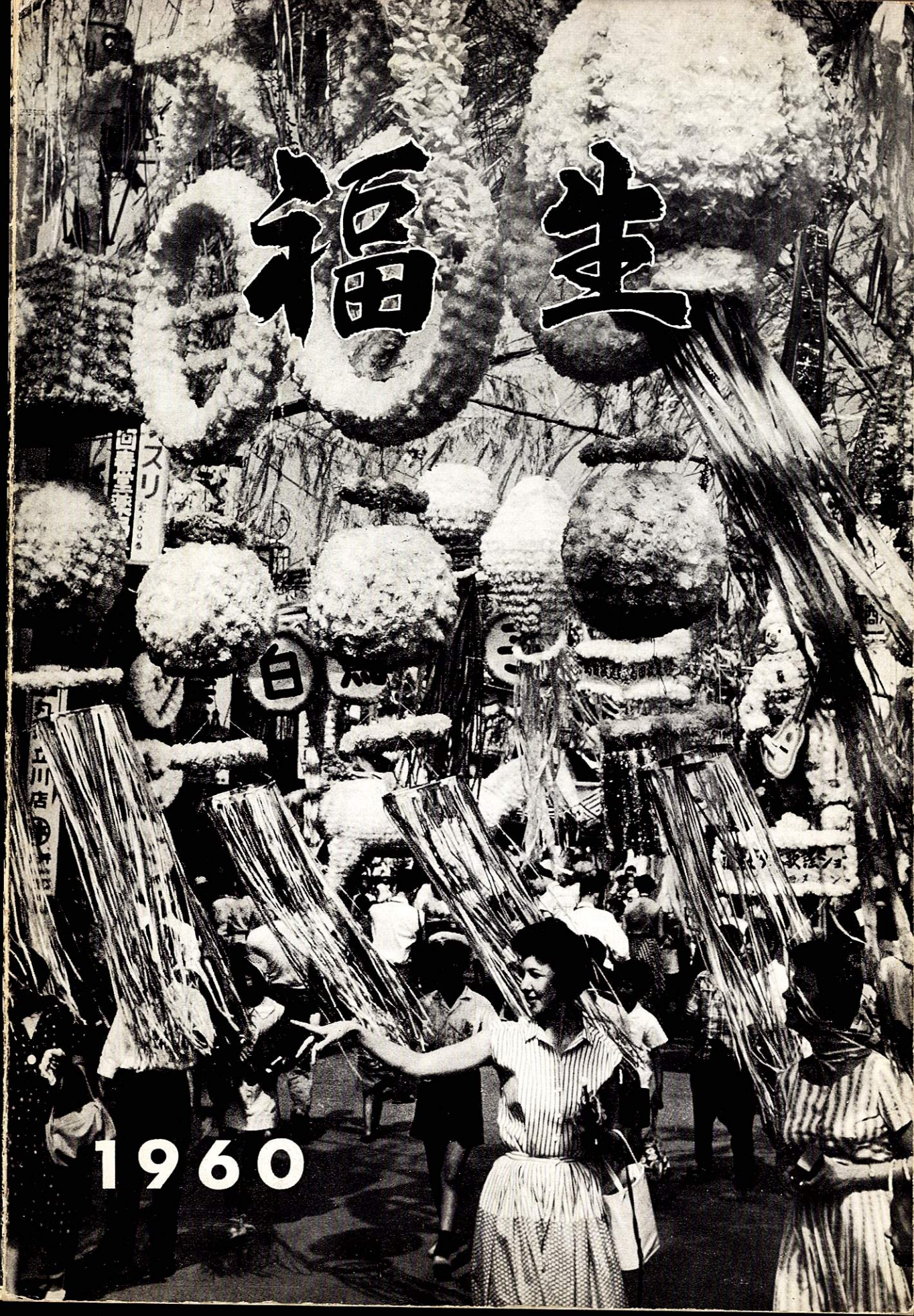


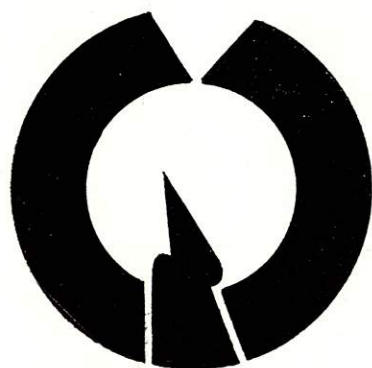
福生



1960

町 勢 要 覽

町制施行20周年記念



福 生 町

昭和35年版

町章について

ふつさの「ふ」を図案化したもので町の飛躍する姿を表現した福生町将来の雄飛と町民の円満和合の姿をあらわしたものです。

福生町章は町制施行20周年を記念して一般より募集し、審査の結果当選と決定したもので、10月1日に告示決定された。

原作者 宇津木 松子



発刊にあたり

福生町は昭和15年に町制を施行してから本年度で満20周年を迎え、ますます発展しつつあることはまことに御同慶に堪えません。

かえりみまするに、当時一寒村に過ぎなかつた当町は、陸軍航空審査部の設置によつて次第に活況を呈し、太平洋戦争の推移とともに軍都として大きな発展を遂げてまいりました。

終戦によつて軍の施設は接収され、米軍横田基地として再出発し、社会的にも経済的にも大きな変革がもたらされ、特殊な環境のもとに今日の盛況をみるにいたつたものであります。

こゝに町制施行20周年を記念して町勢要覧を発行するにあたり、町発展の過程をひもとき、今日の現況をは握して更に飛躍するための大きな礎とすることは、まことに意義深いものと存じます。

不宣の冊子でありますが大方向の各位の御批判を仰ぎ、御一覽いただきますれば幸と存じます。

福生町長 瀬 古 清 蔵



多摩川にて

昔の多摩川は水量も多く、とうとうたる流れは時には洪水となつて沿岸に大きな被害をもたらした。その後羽村の取入口が完成してからは都民の水源として村山貯水池に水を導びき、奥多摩湖も完成して流水の調節がなされ昔のおもかげは見るべきもない。

広い川原と清い水の流れは好適の遊園地であり、魚釣りに水遊びに子供達の樂園となつている。